

平成 31 年度事業計画

(目標) “学び、つながり、高め合い、求められる介護福祉士像を目指そう”

少子高齢化が急進し目前に 2025 年問題、その先には 2040 年問題が待ち受けています。新たな時代の介護ニーズに対応して行くために、見直しされた介護福祉士養成課程のカリキュラムが、今年度から随時導入されます。

このことにより、私たち介護福祉士は、これまで求められてきた役割に加え、現場の介護職の中で中核的な役割を担い、介護ニーズの複雑化、多様化、高度化に対応できるよう、更に高い知識や技術を継続的に学んでいくことが必要となります。

また、地域包括ケアシステム下で、「最期まで住み慣れた地域で暮らす」の実現には、生活支援のプロとして、支援を必要としている方々の「日常生活の継続」の要となり、多職種や介護者、地域住民など、あらゆる関係者に介護実践の根拠を言語化し連携、協働していくための力をつけていくことが求められます。

長野県介護福祉士会は、今後も研修を中心におき、学んだ知識や技術を活かした現場での介護実践を共有し、お互いに高め合い、求められる介護福祉士像を目指し進んでいくことを確認したいと思います。

今年度 7 月には介護福祉士の資格取得後の継続的な教育の機会を提供し、介護福祉士の資質向上を図ることを目的に、2 回目の認定介護福祉士養成研修を実施します。

人材不足が介護職員の働く環境に大きく影響している昨今ですが、「質」を重視してきた介護福祉士会は、これからも介護職間のつながりを大切に介護福祉士のキャリアアップを図り、長野県の介護福祉の向上に努めて参ります。

【具体的目標】

- *生涯研修制度に沿ったキャリアパス対応研修、より専門性に特化した研修を実施し、介護福祉士の資質向上を図ります。
- *会員拡大、支部・ブロック活動や研修強化、広報活動、会員同士がつながり、高め合える関係づくりをし、組織強化に努めます。
- *利用者や家族の望む暮らしの実現をめざし、地域包括ケアの提供形態の、多職種連携、協働のメンバーとして、介護専門職の役割を發揮するための研修を実施します。
- *認定介護福祉士養成研修、実習指導者研修、プリセプター研修等、介護人材育成や指導、教育の役割を担い、介護職場のリーダーとして活躍できる人材を育成していきます。
- *より専門分野の充実が図れるよう、各専門分野における専門部会の活動を支援します。
- *介護実践研究・発表を支援し、介護福祉士の専門性を可視化し介護実践研究の促進を図ります。
- *多職種、関係機関と連携強化を図ります。

1 介護福祉の向上及び福祉の増進に寄与する事業

(1) 介護福祉の向上のための啓発・調査事業

- ① 介護の質を高める事業(養成校との連絡会議・合同研究)
- ② 実践研究支援事業(6 回開催 長野市)

(2) 社会福祉に関する啓発事業・情報提供事業

- ① 講演会の開催(6 月 22 日 安曇野市 穂高交流センター「みらい」)
- ② 公開セミナーの開催(11 月 11 日の「介護の日」に合わせたセミナー 11 月 9 日 岡谷市)
- ③ 講師派遣事業(広域連合介護認定審査会、長野県キャリア形成訪問指導事業等)
- ④ 広報活動事業

目 的	内 容
会員意識の向上に資する啓発、広報活動	①会報「ケアワーク信濃」の発行 (年 6 回、偶数月に発行) ・最新の介護情報の発信 ・本会及び支部、ブロックからの活動報告 ・会員相互の交流、活動状況、新会員の紹介

	<ul style="list-style-type: none"> ・意識向上のための情報発信、講習会研修会等の広報 ・取材報告やアンケートによる会員の意見、ニーズ報告
	②ホームページの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・本会及び支部、ブロックからの情報発信
	③他委員会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動の情報共有、情報交換
会員拡大への広報活動	①会報「ケアワーク信濃」の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・最新の介護情報の発信 ・本会及び支部、ブロックからの活動報告 ・会員相互の交流、会員の活動状況、新会員の紹介 ・意識向上のための情報発信、講習会研修会等の広報 ・取材報告やアンケートによる会員の意見、ニーズ報告
	②ホームページ及び会員勧誘 DVD の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・講習会、研修会等の広報 ・入会案内 ・情報公開 ・介護福祉士会の活動状況 発信
	③他委員会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動の情報共有、情報交換

(3) 介護福祉士の専門性を高める事業

①専門部会研修等

研修名等	期 日	会 場	内 容
施設部会研修	1 日	中信	施設における介護、施設介護職員向け資質向上研修
在宅部会研修	1 日	北信	在宅における介護、在宅介護職員向け資質向上研修
地域福祉部会研修	4 月～3 月	長野市	<ul style="list-style-type: none"> ・潜在介護福祉士就労支援研修 11 月 ・研修&交流会 3 月 ・地域福祉部会 6 回 ・国内視察研修 2 年に 1 度実施(2020 年度に実施)
サービス提供責任者部会	1 日	松本市	サービス提供責任者研修受講者のフォローアップ
認定介護福祉士実践発表	6 月 22 日 11 月 9 日	安曇野市 岡谷市	総会終了後 実践発表 2 名 公開セミナー 実践発表 2 名
多職種連携の中での介護福祉士の果たす役割	未定	未定	その人が住み慣れた地域で継続して生活していくためには、多職種が一体的に支えていくことが必要となる。 介護における多職種連携の意義や連携時の介護福祉士の役割等をワークショップ形式で学ぶ

②部門部会研修

研修名	期 日	会 場	内 容
認定介護福祉士養成研修	7月20日～3月 (42日中17日間)	長野市	認定介護福祉士としての役割や使命を果たすために必要な知識・技術を獲得し、実践力を身に着けた介護福祉士を養成
ファーストステップ研修	5月17日～2月 (16日間)	長野市	小規模チームのリーダーや初任者の指導係として期待できる者を本研修により養成 また、現場における的確な判断、対人理解に基づく尊厳を支えるケアの実践できる、指導的職員を養成
サービス提供責任者研修	5月24日～10月 19日(6日間)	長野市 松本市	介護保険法と訪問介護、訪問介護計画、手順書の作成及び記録、多職種との連携及びコミュニケーション、事業所内で部下を指導教育する方法、サービス提供責任者に必要な医療知識や緊急時対応、個別事例へのかかわり
実習指導者研修	7月29日～10月 21日(4日間)	長野市	介護の基本、実習指導の理論と実際、介護過程の理論と指導方法、スーパービジョンの意義と活用、実習指導における課題への対応、指導者への期待
介護福祉士基本研修	9月3日～12月5 日(4日間)	長野市 松本市	介護過程を展開する前提として、求められる介護福祉士像、生活支援としての介護の視点、自立支援の考え方、求められる知識と技術、介護過程の基本的理解、介護過程の展開の実際
プリセプター養成 (新人育成)研修	4月25日	長野市	新人職員の定着促進、育成と離職防止を図るため人材育成の教育システム
リスクマネジメント研修(初任者向け、中堅向け)	5月15日、6月 5日(2日間)	長野市	初任者向け、中堅向けのリスクマネジメント
生活支援技術講習会 (指導者スキルアップ)	6月29日(土)	長野市	介護支援技術の講師としての教授法を学ぶ 介護の専門性の個別性を重視しながら、生活全体を見てその状況に合わせた介護が提供できる支援技術を学ぶ
リーダー(講師養成)研修	10月9日、11月 19・20日(3日間)	長野市	指導的立場や今後その立場になる介護福祉士を対象として、指導者、講師としての基礎的事項を修得
介護記録の書き方講習会	10月18日(金)	長野市	介護記録のポイントを押さえた書き方、時間短縮の書き方等、統一した介護を行うための基本ルールを学ぶ
認知症研修 (初級、応用、精神疾患等)	12月～3月頃 (3日間)	長野市	認知症のある人への生活支援における目指すべき認知症介護 精神疾患等の基礎的知識
リハビリテーション 介護技術研修	12月頃	長野市	リハビリテーション介護、関連職種の連携、生活支援に必要な運動学、日常生活の中のリハビリテーション

ターミナルケア研修	1月頃	長野市	ターミナルケアにおいて介護職の役割と意義、さらに多職種との連携について学ぶ
多職種連携に関する研修 (地域ケア会議)	2月頃	長野市	多職種連携を行うための意義、介護福祉士の役割と専門性 地域ケア会議に出席する介護福祉士向けの研修
権利擁護・虐待防止研修	2月頃	長野市	利用者支援をしていく上での権利擁護・虐待防止について学ぶ

③支部研修 4支部 各支部3回 以上研修実施

④ブロック研修 21ブロック 各ブロック3回 以上研修実施

⑤ 受験対策事業

講座名等	期 日	会 場	内 容
全国一斉模擬試験	12月初旬	2会場(東北信・中南信)	全国一斉模擬試験の実施

2 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(1) 諸会議の開催

① 定時社員総会 年1回(6月22日 安曇野市 穂高交流学习センター「みらい」)

② 理事会 年4回(6月(2回)、12月、3月)

③ 委員会の開催

ア 運営委員会 年6回 事業運営等を協議

イ 広報委員会 年6回 編集会議 ホームページ担当者会議 年2回

ウ 研修委員会 年2回 研修の運営、企画について討議

エ 組織委員会 年6回 会員の拡大と組織の充実を推進するための協議と活動

(ア) 介護福祉士会の組織について研修	対象 支部、ブロック役員(連絡員も含む) 時期 31年度最初の支部会議 方法 支部会議で研修の時間を取ってもらうように働きかける。講師選定、手配
(イ) 新入会員勧誘のための活動 ・各支部役員、各委員会との連携を図り、協力を仰ぐ。	・所属している支部、ブロック研修時に勧誘に行く。(DVDを活用) ・介護の仕事に就いて間もない方々を対象に新人向け介護カフェを行う。 ・本会の主催する研修時に勧誘を働きかける。 ・研修委員にも協力を依頼する。 ・支部、ブロック役員にも協力を仰ぐ。
・日頃から養成校との連携を深める。 ・事業所、学校へ勧誘に行く。	・養成校の学園祭等イベントに出向き、介護福祉士の活動や介護の魅力を伝えていく。 ・訪問する学校を分担し10月中に連絡を取り具体化しておき、2月中に勧誘に行く。 ・事業所への勧誘は、1人2か所以上を目標に行なう。(随時)

<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員のワークショップを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会で計画起案を行い、各支部ごとに（ブロック単位でも）介護の魅力や介護存在意義などを話し合う。 ・入会の促進、退会者の減少に繋げる。 ・支部役員に協力を仰ぐ。
<p>(ウ) 組織委員会を定期的に行い、組織 においての諸問題を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回委員会を持つ。 ・定期的に入会状況を把握し会員拡大促進を図る。

- ④ 三役会 適宜
- ⑤ 支部総会 年1回
- ⑥ 支部役員会 適宜

(2) その他

- ① 日本介護福祉士会総会(代議員会) (5月25日) (東京都)
- ② 日本介護福祉士会第26回全国大会・第17回日本介護学会 in いしかわ(11月15日～16日) (石川県)
- ③ 第26回関東・甲信越ブロック研修会 in 千葉(10月26日) (千葉県)
- ④ 組織運営管理事業